

## 新「奈井江町教育ビジョン」素案策定の経過

### 【 教育ビジョン検討委員会 】

令和3年2月27日(土)	第1回教育ビジョン検討委員会【意見交換_現ビジョン検証】
令和3年3月13日(土)	第2回 //
令和3年6月26日(土)	第3回教育ビジョン検討委員会【意見交換_新ビジョンについて】
令和3年7月 3日(土)	第4回 //
令和3年7月10日(土)	第5回 //
令和3年7月24日(土)	第6回 //
令和3年7月31日(土)	第7回 //
令和3年8月21日(土)	第8回 //
令和3年8月31日(火)	教育委員会へ報告⇒追加資料 P1~4

### 【 教育委員会 】

令和3年8月31日(火)	} 検討委員会からの報告を受け素案検討
）	
令和3年10月20日(水)	

### 【 総合教育会議 】

令和3年10月22日(金)	会議開催_素案協議
令和3年10月26日(火)	} パブリックコメント（意見公募）実施
）	
令和3年11月8日(月)	※【本日】11月5日(金) 町民委員会開催
令和3年11月9日(火)以降	<u>新「奈井江町教育ビジョン」確定</u>

# (新)奈井江町教育ビジョン(案)

(令和4年度～令和13年度)

## 基本理念

### ～小さなまちから広がる未来～

私たちは、北海道空知の奈井江町に住んでいます。

小さな田舎まちだからこそできる～ 子どもたち一人ひとりが、美しい田園風景が広がるこの地域と共に世界を識り、好きなことやりたいことを自ら見つけられる人を育みます。

また、他人との違いを知り受け入れ、一人ひとりが生涯に亘って生き生きと暮らせる学びや芸術、文化、スポーツの機会の創設を継続します。

このために次の重点目標を掲げます。

## 重点目標

### 1. 奈井江を識り、世界を識る

- 「ふるさと奈井江」を学ぶ活動を行います
- 体験活動や国際交流を通して、世界を識る教育を行います
- ICTを使いこなせる人を育てます
- 受け身ではなく、子どもたちが自ら学ぶ芽を育てます

### 2. 他人を知り、違いを認め、切磋琢磨する

- 創造性と自律性を育みます
- 他人を知り、尊重できる人を育てます
- チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ちを育てます

### 3. 得意なこと、好きなことを生涯続ける

- 学びや文化、スポーツなど、「生涯の友」を見つけれられる環境を提供します
- 子どもから大人まで様々な学びを支援し、異世代が交流できる場を創ります
- コンチェルトホールを大いに活用し、芸術に触れる機会を増やします

# (新)奈井江町教育ビジョン(案)

(令和4年度～令和13年度)

## 基本理念

### ～小さなまちから広がる未来～

私たちは、北海道空知の奈井江町に住んでいます。  
小さな田舎まちだからこそできる～ 子どもたち一人ひとりが、美しい田園風景が広がるこの地域と共に世界を識(し)り、好きなことやりたいことを自ら見つけられる人を育みます。  
また、他人との違いを知り受け入れ、一人ひとりが生涯に亘って生き生きと暮らせる学びや芸術、文化、スポーツの機会の創設を継続します。

このために次の重点目標を掲げます。

大人も自律できていない。

良いところは残し、足りないところは補う…どうしたらよいか。

「知る」でよいのでは？  
いきなり「世界」ではなく「日本」をまず知ることも考えた方がよい。

## 重点目標

たっぷりの愛情で育てることが大事。厳しくても愛情があれば安心感があり、大人になっても頑張っていける。

子ども会議など、小さな町だからこそできる。大きな町ではできない。自分たちの意見が実現していく事が経験できる。

子どもと大人の考え方、時代も変わってきている。見守ることも必要。

「日本や世界を知り」

### 1. 奈井江を識り、世界を識る

- 「ふるさと奈井江」を学ぶ活動を行います
- 体験活動や国際交流を通して、世界を識る教育を行います
- ICTを使いこなせる人を育てます
- 受け身ではなく、子どもたちが自ら学ぶ芽を育てます

#### 具体的な施策

##### 施策名

##### 事業内容

##### 奈井江を識る

- ・「奈井江」のことを知る教育～小中で奈井江の歴史を学ぶ授業をしては。
- ・米を売る。
- ・町内農家・企業などのチラシ作成など。
- ・「人・歴史など」をデータ化し、みんなで使ったら良い。
- ・町の中を歩く、現地へ行く
- ・サイクリングロードを作って、町内を巡るコースを作る
- ・郷土館の活用（学芸員を用いて郷土館を盛り上げる。興味を持ってもらう。）
- ・奈井江町で活躍している人の紹介
- ・町外との交流をもつ、奈井江町を知る機会を作る。
- ・外国人や移住してきた人の意見を聞く機会を作る。
- ・大人が奈井江を知る機会を作り、伝えていく（大人も奈井江の事を知らない）
- ・住電等と協力して工場見学を増やす
- ・新庁舎の一角に町の特産や名所のコーナーを作る
- ・地域と協力して親子で参加できるイベントを（遠足、ドッチボール、ウォークラリーのようなもの）

##### 体験活動・国際交流・世界を識る

#### 【体験活動】

- ・町の企業リストなどがあればよい。
- ・地域と連携して子どもたちに色々な体験をさせる。いい話ばかりではなく、厳しさや大変さ、やりがいなどの話も聞かせて欲しい。
- ・あぜ道を歩く!!→農家と触れ合う。奈井江だからこそできること。普段できないことをやってみることは、子ども達にとって特別な活動になる。

(農家さんの意見：あぜ道には消毒をして入ってくれるなら可能。いつも歩けると思われると困るので、特別なことだとしっかり指導してくれるなら対応は可能)

#### 【国際交流】

- ・ICTを活用し、授業で取り組む。
- ・ハウルヤルビ町との交流を継続。規模の拡大～ぬくもりのある交流に。
- ・ALTをもっと活用。出身国との交流。身近な存在に。
- ・中学校でオーストラリアの子供達と日本語でズームをした。アンパンマンを知っていたなどの驚きもあり、英語を話したいという意欲につながるのでは。

### 2. 他人を知り、違いを認め、切磋琢磨する

- 創造性と自律性を育みます
- 他人を知り、尊重できる人を育てます
- チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ちを育てます

#### 具体的な施策

##### 施策名

##### 事業内容

##### 創造性・自律性

- ・色々な体験や学びを通じ育む。次の発展へつなげる。
- ・授業の中だけでは、夢中になつたり負けたくないなどの気持ちを育てる事は出来ない。
- ・今の子はスマートでいたい、根性とかの気質を出す事がかっこ悪いと思っている。
- ・友達関係もあるので1人がそこに行くと全員がそこに流れてしまう事がある。
- ・周りの環境や物等が多く用意され、与えられてばかりだと、自分で考えることができなくなるのでは？
- ・色々な体験の中で、自分で考え、判断する力が養われる。
- ・失敗から学ぶ事は多い。ネット等ですぐ正解を検索して、試行錯誤する機会が減っているのでは？（自分で考える機会が減っているのでは？課程を理解する事が必要。）
- ・探求心や冒険心を育てる環境作りを
- ・最近では親や地域が危険だからと、最初から止める事が多くなった。
- ・周囲がだらかではなくなった。
- ・過保護すぎないか。
- ・何でもかんでも学校で教えて貰えるのはおかしいと思う。
- ・学校は色々な力を伸ばす所、家庭の役割を考えてみては？（はしの持ち方、鉛筆の持ち方等）

#### 【夏、冬休み作品展】

- ・公民館・文化ホール・みなクル・スーパーや銀行にも展示し、発表の場を増やしたら良いと思う。子供達の意欲にも繋がるのではないかな。
- ・子どもの数が少ないからこそ、全員の作品を展示できないか？
- ・文化連盟や町女連等の団体が作品の展示を手伝う。最終的には地域の人が子ども達の作品を展示し、紹介してあげる形にできたら良い。
- ・町の大賞などもあるとモチベーション上がるのではないかな。その場合、子供達にも伝えておく事も大切、知らなかったにならない様に。

#### 【原水爆パネル展】

図書館とタイアップし、戦争や原水爆関係の本を紹介をする

#### 【成人式】

20歳での開催が良い。大学や就職を経験してから友人と再会できた方が感じる物が違うと思う

### 3. 得意なこと、好きなことを生涯続ける

- 学びや文化、スポーツなど、「生涯の友」を見つけれられる環境を提供します
- 子どもから大人まで様々な学びを支援し、異世代が交流できる場を創ります
- コンチェルトホールを大いに活用し、芸術に触れる機会を増やします

#### 具体的な施策

##### 施策名

##### 事業内容

##### 生涯の友を見つける

- ・自分の置かれている環境で、出来ることを探すことも大事。
- ・小さいころからやっているものが、生涯続けていくことが多い。色々な経験をさせてあげることが必要。
- ・生涯教育においてもIT、ICTは必要。子どもたちに教えてもらう場面もあってもよい。
- ・小学校から楽器に触れると良いと思う。他の事もそうだと思うが小さな頃から触れる事はよいのではないかな。

#### 【活動団体の維持】

- ・スポーツ・文化活動における絶対人数の不足(人口・子どもの数)・・・チームがつかれない
- ・選択、交流できる場が大切（選択のできる体験・経験・活動の場）
- ・指導者の育成、確保、PR
- ・活動の発表・交流する場は大切。ないと意欲低下する。(文化祭・スポーツ大会)
- ・サークル活動をまとめる人が積極的でないと、グループとして続かない。今は仕事と家事の両立が当たり前なので負担が多い。

#### 【広報活動・情報発信をして存在をアピール】

- ・団体の存在を知らない人が多い。(何をどこでやっているかわからない)
- ・サークル等を把握(文連、スポ協に加入していない団体を含め)し、一カ所でわかる場所がほしい・・・情報発信の場を
- ・PRや紹介が文書だと分かりづらいし、取っつきにくい。マンガ等のイラストや写真等を多く使用する

#### 【文化伝統団体への支援】

- ・後継者の育成、若い人の加入が必要
- ・備中神楽保存会の活動維持  
伝承者の減少。文化祭での発表のみ伝承を若い人への道しるべに。
- ・北海わらべ太鼓  
保存すべき団体  
子どもの達の芸能への興味不足
- ・芸能活動は指導者の負担大きい
- ・若者の芸能への興味不足
- ・若者への継続を考えてもつながらない
- ・指導者の育成

## 1. 奈井江を識り、世界を識る

- 「ふるさと奈井江」を学ぶ活動を行います
- 体験活動や国際交流を通して、世界を識る教育を行います
- ICTを使いこなせる人を育てます
- 受け身ではなく、子どもたちが自ら学ぶ芽を育てます

### 具体的な施策

施策名	事業内容
-----	------

#### 体験活動・国際交流・世界を識る\_つづき

##### 【国際交流\_つづき】

- ・今やっている学校での勉強と、どう繋がるのかも知る事ができるのではないか。
- ・町民の関心を高める為にフィンランド語の講習を公民館講座で行う（簡単な言葉から複数回開催）
- ・フィンランドとの交流時、広報等で終わった後に知る事が多い。もっと前から情報発信し、周知することで町民に意識づけを
- ・学校（子ども）同士の交流はあるが大人（町民）の交流が少ないので、町全体でウェルカムの雰囲気を作れない。大人は豆腐作り等の体験を通じた交流、子どもはホームステイの体験を通じた交流を

##### 【世界を識る】

- ・諸外国に行っている町民、奈井江出身の美術家の人もいる。身近な人から学びをすすめて、子どもが外への可能性を知る機会を作る。ICTにより場所を選ばず、挑戦可能な時代。

#### ICTを使いこなせる人を育てます

- ・使い方・マナーをしっかり教えていく～いじめにさせない教育
- ・1人1台端末の効果的な活用の推進
- ・タブレットばかりではなくPCも使えるように。
- ・子どもたちの利用はゲームやSNSに偏っている。
- ・ICTを上手に使い、1人1人個別に勉強を進められるようになってきている。（AI教材の導入）
- ・公共施設のFreeWi-fi化。

##### 【行事のLIVE配信】

- ・事業をおこなっている最中にLIVE配信してほしい。豆まきやカボチャ作りの様子等、身近に楽しめるのではないかな。
- ・運動会など、仕事を抜けていく事があるが、LIVE配信などがあれば、見に行きやすい。プログラムの進捗状況がわかる工夫があつたらよい。
- ・LIVE配信すると顔が映り著作権などの問題があるので難しいのではないかな。物づくりなどで顔は映さず手元だけ作っている作業ならどうか。
- ・動画配信ではなく、静止画（写真）のライドショーなら後日本人に確認を取った上で公開できるのでは？
- ・顔出しが問題であれば、アバターを使用してはどうか。

#### 受け身ではなく、子どもたちが自ら学ぶ芽を育てる

##### 【子ども会議】

- ・子ども会議に地域の方が何人か入ってもらう事は出来るのか。
- ・今は町長対子ども会議委員なのでその様子を地域の人に見てもらおうのどうか。
- ・大人が入ると大人の意見によってしまふのではないかな。

##### 【思考力のある町づくり・経験させる】

- ・学ぶ芽を育てる～家庭の理解
- ・手をかけ過ぎない。
- ・興味を持たせる。
- ・五感に響かせる。
- ・学んだことを伝えられる子どもに～自分の知識として身に着ける。
- ・自分たちが未来を創るという当事者意識～町の政策を子どもたちへも伝える。
- ・大人もがんばる～子どもは大人の鏡。

## 2. 他人を知り、違いを認め、切磋琢磨する

- 創造性と自律性を育みます
- 他人を知り、尊重できる人を育てます
- チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ちを育てます

### 具体的な施策

施策名	事業内容
-----	------

#### 他人を知り、尊重できる人を育てます

- ・小さな町だからできる交流がある。交流の場への参加が増える話題づくりが必要
- ・地域の子供達へのつながりは中学生まで！

##### 【道徳教育】

日本人の道徳感は素晴らしい。日本人の良さは残していく必要があるので、道徳教育を継続していくべき。

##### 【特性を伸ばす教育・選択できる環境】

- ・個人の特性を理解した支援。
- ・他人との違いを理解し、尊重
- ・LGBTなどへの配慮～制服の選択性など。

##### 【障がい者との交流】

- ・学校生活で学ぶことがある。障がい者との交流など環境が大事。
- ・拓明興社に手話士がいる。耳が不自由な方のために、手話を教えることも可能。障がいのある人も交流できるように活用してもらえたらと思う。→公民館講座でできないか？子どももできたら合唱などでも手話をういながら歌い披露してはどうか。（文化ホールの活用）

##### 【子ども会】

- ・今の子ども会の活動、指導している人は地域の人か？昔は学校とか関係なく地域での関わりであった。
- ・子ども会の無い地域は子ども同士や 地域住民との繋がりがなくなっていくか？
- ・子ども会の面倒をみる人が少ない、役員のなり手がいない。
- ・近隣地区で統合を進めてみては？
- ・行事を行っても子どもが集まらない（少年団で来れなかったり、親が仕事で来れない）
- ・異世代との交流も考えたらよい。

#### チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ち

- ・成功の体験、褒められた体験を通して、気持ちが向上する。結果や成果をわかりやすく、形に見えるもので示す（スタンプや賞状、記録表、広報などの公表など）
- ・児童館や学童の集まりの中で、遊びを通して（カルタやオセロ等）勝ち負けもチャレンジに繋がる
- ・一番になりたいという思いを持たせる
- ・好きな物、人を見つけることで、憧れから目標をもってチャレンジ出来る
- ・発表するにもプライバシーに配慮が必要
- ・年齢を重ねても人との競い合いはある。

##### 【部活動】

###### ☆部活動の大切さ

- ・あいさつや社会ルール、上下関係を学ぶ大切な場。
- ・若い人はメンタル面が弱い子が多いと感じる。もっとチャレンジすることや挫折など部活動を通じて強い精神を育てて欲しい。
- ・スポーツや部活でチャレンジ精神がついていくと思うが、それに今の子供達はのって来ない。
- ・学校の部活動は教育活動としてやっているの、強いだけではない。学校でやるのとクラブチームとは違う。
- ☆部活動の連携
- ・町内での小中高の連携
- ・生徒数が減っているの、町内では限界がある。近隣市町との連携も必要。
- ・狭い中で自分が一番だと思ひしを留めてしまう。上には上がいる環境を知ることは必要。
- ・学校単独・町単独では、ずっと続けていく事は難しい。

## 3. 得意なこと、好きなことを生涯続ける

- 学びや文化、スポーツなど、「生涯の友」を見つけられる環境を提供します
- 子どもから大人まで様々な学びを支援し、異世代が交流できる場を創ります
- コンチエルトホールを大いに活用し、芸術に触れる機会を増やします

### 具体的な施策

施策名	事業内容
-----	------

#### 学びの支援・異世代交流

##### 【公民館講座】

- ・公民館講座を交流の場として活用できるのではないかな。（フラダンス・石碑巡り・百人一首・物づくり）
- ・PR方法として子供が子供をよんだら参加者を集めやすいのではないかな。同学年だけになってしまうかもしれないが、同じ年の子供同士も楽しいと思う。
- ・年代を広げてPRを
- ・拓明興社に手話士がいる。耳が不自由な方のために、手話を教えることも可能。障がいのある人も交流できるように活用してもらえたらと思う。→公民館講座でできないか。子どももできたら合唱などでも手話をういながら歌い披露してはどうか。（文化ホールの活用）
- ・講師の募集、人材登録が必要（可能ならば町内の人）。既存団体を講師にして行えないか？団体のPRにもなる。
- ・ウクレレやヨガのように、サークル活動発足へのつなぎ役を担って欲しい
- ・成人式前の人を対象に着物の着付け教室を行ってはどうかな？

##### 【町民歩こう会】

- ・バスを利用出来たら、様々なコースを楽しめる。にわ山の麓から歩ける。
- ・建設業等とタイアップし簡易トイレを使用できたら、トイレの場所を気にしなくてよくなるのでは？

##### 【寿学級】

- ・年会費500円が安くて助かる。
- ・いつでも入会できるのも良い。
- ・こぶしは全員配布なので楽しめる。継続を。

##### 【異世代の交流】

- ・事業等に各種団体がボランティアとして参加できると思う。そこから交流を広げることが出来ないかな？
- ・老人クラブの人達は子供達と遊ぶ事を楽しいと思っているの、老人クラブによんでもらうのは出来ないかな。
- ・公園で遊んでいても同級生とは話をするがお年寄りとは中々話さないの、その様な機会を大人が作ってはどうかなその様な機会が無くなってきているのでこの10年かけてまた作る。
- ・小学校のクラブなども大人も一緒に参加できたらよい（クラブ活動の中にお年寄りが入ってくるのはどうか。昔、江南小学校でゲートボール大会を子ども対お年寄りで行っていた。）
- ・子ども対象に行っているモルックを大人も参加できるようにすれば、異世代の交流の場になる
- ・子ども会と各団体との連携した活動は？（スポーツ大会等）ラジオ体操・囲碁など小規模でも活発な活動・運営をしている団体も
- ・囲碁名人・オセロ名人の挑戦求む！ボードゲームと一緒にやろう！など異世代交流で出来る企画を地域おこし協力隊にお願いしたら良いのではないかな。
- ・卓球をしているお年寄り子どもと対決する。
- ・吹奏楽部にピアノの先生に入ってもらいコラボ。
- ・高校の先生の協力（連携講座含め）知識・資源がある。
- ・防犯パトロールカーに子供も一緒に乗るのはどうか。
- ・参観日に保護者が見るだけではなく、大人と子どもとの学力テストの対決をするなどをしたらどうか。
- ・全体で運動会・盆踊りなど、大人と子供がいっしょに参加できるもの～町の人との交流が生まれ、防犯にもつながる。子ども会も各地区人数が減り、地区ごとの実施は困難になっている。盆踊りは、役場前などで実施し、町全体が元気になるようなイベントにしたらよい。
- ・南町の盆踊りは奈井江福祉会の協力があり、子どもたちに人気がある。

#### 【学校教育・社会教育総まとめ】

## 1. 奈井江を識り、世界を識る

- 「ふるさと奈井江」を学ぶ活動を行います
- 体験活動や国際交流を通して、世界を識る教育を行います
- ICTを使いこなせる人を育てます
- 受け身ではなく、子どもたちが自ら学ぶ芽を育てます

### 具体的な施策

施策名	事業内容
	<p><b>その他の意見</b></p> <p><b>開かれた学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・学校・家庭の連携～いつでも授業をみてもらう。助けてもらう。</li> <li>・自分の子どもや孫が学校に通っている間以外は関わりや繋がりは薄い。</li> <li>・学校の先生や父兄、文化団体を支援グループを作り、そのグループをまとめる中心人物がいないと、関わりを作るのは難しい。</li> <li>・学芸会等、学校で行っているものを文化ホールで行い、町民に見てもらおうと関わりが高まる。</li> <li>・七夕祭りなど、ニュースや新聞に取り上げられると多くの人の耳に入って話題になる。町主体ではなく、地域の人が主体となって何かを始めれば、取り上げられやすくなるのでは？</li> </ul> <p><b>小中統合・一貫教育について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの人数が今後減っていく。小中を1つにすれば世代間で学べることもあるのでは？</li> <li>・子どもの人数が少なくなると先生の人数も少なくなってしまう、専科の先生の確保やゆとりを持った教職員の確保が必要</li> <li>・小中一貫になれば、子ども達の目配り成長等の情報を教師間で共有しやすくなると思う</li> </ul> <p>【小中一貫にしない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校を一つにすることなく、専科の講師を独自で起用する方向で教育環境を充実させていく</li> <li>・小学校は町内で少ない人数で育てる環境を作り、逆に中学校は他市町村と統合し人数を増やし、切磋琢磨できる環境を作る</li> <li>・少人数学級で学ぶのは育てる環境に適しており、一人一人に目を向けやすい</li> <li>・小中一貫は学力重視の環境に思える</li> <li>・小中の連携を深める、繋げる環境の充実が必要（共に過ごす時間や空間等）</li> </ul> <p><b>児童館建て替え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の建て替えはどうなっているのか？児童館とコミュニティー会館を合同で建て替えるのはどうか。</li> <li>・みなクルがその役割をしているのではないか。</li> </ul> <p><b>公共施設の活用</b></p> <p>文化ホール・公民館(図書館)・体育館・プール・道の駅・球場など、交流の場に。他の学校を呼んだり。</p> <p><b>HPの活用</b></p> <p>町のHPに、子ども達の書いたイラストを使用してはどうか。閲覧が増えるのでは。</p> <p><b>新庁舎建設に向けて</b></p> <p>点字や音声・手話など誰でもわかりやすい庁舎づくりが必要。町のPRもみんなにわかりやすいようにしたらい。</p>

## 2. 他人を知り、違いを認め、切磋琢磨する

- 創造性と自律性を育みます
- 他人を知り、尊重できる人を育てます
- チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ちを育てます

### 具体的な施策

施策名	事業内容
	<p><b>チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ち_つづき</b></p> <p><b>☆部活動の連携_つづき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達の多様な対応は次の10年続ける事は難しいと思う。</li> <li>・少年団と部活動の関わりがない。</li> <li>・教諭は6年くらいで転勤があり、部活を視野に入れた転勤は考えてもらえない。</li> <li>・赴任先々で違う部活の顧問になり経験の少ない部活道の指導をすることもある。</li> <li>・毎年子供達の意見をきいて部活を作っていけばいいと思う。</li> <li>・子供が少ないので個人種目になりがちになっている。</li> <li>・外部指導者を町で育てていく事に力を入れていくのはどうか。</li> <li>・クラブチームと部活動が合体するとよいのではないかと。送迎したり、行けない時は学校で筋トレするなどはどうか。</li> <li>・人数が少なく困っているクラブチームと一緒にやるなど学校とクラブチームとの関係ができればいい。</li> <li>・中空知広域市町村圏組合(滝川)に意見したら、より近隣でもっと協力して助け合うことが出来るのではないかと。</li> <li>・小学校から吹奏楽をやったらいい。小学校期より楽器に触れて中学校の吹奏楽につなげて行けたらいい。</li> <li>・器楽クラブを固定で作り、その他は好きなクラブを作るといいのではないかと。</li> <li>・小学校のクラブ活動の時間が少ない。英語の勉強で時間がとられているのか。</li> </ul> <p><b>☆果たして部活動は必要なのか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが入らないということは、ニーズがないということでは。</li> <li>・外部の指導者を月に1～2回よんだところで部活をやろうと思うのか。</li> <li>・部活動に求めないで違うところで力を入れてやったらどうか。</li> </ul> <p><b>【近隣市町との交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内だけでは狭い思考に留まってしまう。近隣市町と交流し、色々な人がいることを知り、競い合うこと、切磋琢磨できる環境をつくる。</li> <li>・幼いころからずっといっしょの子たちばかりでは、しっかり伝えることが必要ない場面が多いため、伝えることの大切さや色々な他人がいることを知る活動が必要。</li> <li>・近隣の学校で体育を一緒にやって対抗するなど。</li> </ul> <p><b>【放課後に充実したことができる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように生活してきたかで将来は決まる。選択肢を増やせる何かが必要。近隣との協力も必要か。</li> </ul> <p><b>【スポーツ教室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室(NPO)は、学校の部活動が少ないので、指導者がいて活動できるのが良い。</li> <li>・部活動・部活動であれば、放課後に行えて遅い時間にならないうので、親の送迎は必要なくなる。部活動でないスポーツ教室やクラブでは夕方(18時や19時)から始まるので、親の送迎が必要になるので参加が難しくなる。</li> <li>・スポーツ教室の増を。</li> <li>・部活で団体競技でチームを作れない。複数の学校で連合を組んで大会に出れないか。</li> <li>・スポーツをしている親が子供たちにスポーツを指導できないか。(バレー等)</li> <li>・子どもの時からの運動習慣が大人になってからの活動につながる</li> </ul>

## 3. 得意なこと、好きなことを生涯続ける

- 学びや文化、スポーツなど、「生涯の友」を見つけられる環境を提供します
- 子どもから大人まで様々な学びを支援し、異世代が交流できる場を創ります
- コンチエルトホールを大いに活用し、芸術に触れる機会を増やします

### 具体的な施策

施策名	事業内容
	<p><b>学びの支援・異世代交流_つづき</b></p> <p><b>【図書館活動の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の過ごせるスペースを充実させてほしい。近隣はゆっくり座って過ごせるなど、図書館で本に親しめるスペースが確保されている。</li> <li>・勉強スペースなどにクーラーを設置するなど過ごしやすい施設に改修すべき。</li> <li>・新作図書やおすすめの図書など、広報だけではなく、HPでもPRしたらいい。</li> <li>・学校の学級文庫を移動図書で対応できないか。本を身近にすることで本を読むのでは。学校図書館だけでは不十分。</li> </ul> <p><b>コンチエルトホールの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さいホールだからこそ生音が素晴らしいし、演者との距離も近い</li> <li>・地元の人に会うのが嫌だから来ない人もいる。</li> <li>・オンラインで楽しみたい人もいる。無観客、人数制限で観客の人数が少なくて寂しく感じる。</li> <li>・奈井江町に縁がある人達のコンサートという内容で継続が良い。小さい団体が主流になっていく流れ。大きい団体を率いるのは難しくなっている。</li> <li>・幼児・小学生向けのコンサートをして欲しい。</li> <li>・地域との関わりを深く学芸会発表などコンチエルトホールをもっと活用する。</li> <li>・学校でも子ども達に手話を教え、文化祭の時などに、手話を用いて合唱を行うのはどうか。</li> </ul>

# (新)奈井江町教育ビジョン(案)

(令和4年度～令和13年度)

## 基本理念

### ～小さなまちから広がる未来～

私たちは、北海道空知の奈井江町に住んでいます。

小さな田舎まちだからこそできる～ 子どもたち一人ひとりが、美しい田園風景が広がるこの地域と共に世界を識(し)り、好きなことやりたいことを自ら見つけられる人を育てます。

また、他人との違いを知り受け入れ、一人ひとりが生涯に亘って生き生きと暮らせる学びや芸術、文化、スポーツの機会の創設を継続します。

このために次の重点目標を掲げます。

## 重点目標

### 1. 奈井江を識り、世界を識る

- 「ふるさと奈井江」を学ぶ活動を行います
- 体験活動や国際交流を通して、世界を識る教育を行います
- ICTを使いこなせる人を育てます
- 受け身ではなく、子どもたちが自ら学ぶ芽を育てます

#### 具体的な施策

施策名	事業内容
「ふるさと奈井江」を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の国語で、1～2時間くらい奈井江の歴史の授業をしたら「奈井江」についてもっと学べるのではないかな。</li> <li>・総合探求という授業があるので、その枠に「奈井江町を識る」ことを取り入れたいと思う。</li> <li>・公共施設を見学、体験できる機会がほしい。</li> <li>・学生が年に1回奈井江町についての新聞を作成し、紹介する。作成した新聞は後広報に取り上げてもらう。</li> </ul>
体験活動・国際交流・世界を識る	<p><b>【農業体験・キャリア教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで難しいかもしれないが、奈井江町で生産している現場を見学する。</li> <li>・米を売る。～小学校で米作り。中学校で米を売る。</li> <li>・町内農家の作物販売時のチラシ作成など。</li> <li>・授業の一環として、仕事について話し合う機会や自分のやりたい職業以外の職業を体験する機会があれば良い。</li> <li>・体験活動の主催者の方に学校に来ていただき、自分たちがどんな体験をしたいか話す。</li> <li>・学校で動物を育てる体験をすれば、責任感などを学ぶことができる。</li> </ul> <p><b>【国際交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈井江町や町外を知ったり、交流するためにオンライン交流の時間を作る。</li> <li>・ALTを通じて他国と交流文化を知る。(何食べてる？流行)</li> </ul> <p><b>【世界を識る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でオリンピック体験。競技を見る。体験する。</li> </ul>
ICTを使いこなす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の調べ学習などでiPadを使用する。</li> <li>・ICTはiPadだけではなくPCも使う機会が必要。将来的に役立つ。</li> <li>・小中学校で、PCを使うことが可能なので、上記のことを調べることもいいのではないかな。</li> </ul>
受け身ではなく、自ら学ぶ目を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身にさせない対策。積極的な行動をすればメリットがあるようにする。</li> <li>・子どもが主体で事業を考える機会があれば良いと思う。</li> </ul>

### 2. 他人を知り、違いを認め、切磋琢磨する

- 創造性と自律性を育みます
- 他人を知り、尊重できる人を育てます
- チャレンジする気持ち、互いに競い合う気持ちを育てます

#### 具体的な施策

施策名	事業内容
創造性と自律性を育みます	<p><b>【道徳教育】</b></p> <p>小中の時には、道徳の授業があったが、高校の授業にも道徳を入れたい。社会へ出たときに創造性と自律性を育むことができると思う。</p> <p><b>【高校PR】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭で作った壁画などを利用し、学校のPRをすることもできると思う。</li> <li>・クラブ活動の様子を写真や動画にして学校をPRする。</li> </ul>
他人を知り、尊重できる人を育てます	<p><b>【道徳教育】</b></p> <p>小中の時には、道徳の授業があったが、高校の授業にも道徳を入れたい。人を尊重できるおもしろい心や育てられると思う。</p> <p><b>【高齢者・障がい者との交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健寿苑や福祉会との交流を多くし、大変さを学ぶ。</li> <li>・世界で障がいを持っている方のスポーツをしている姿や活動しているところを動画でみる。</li> <li>・実際に、その人を選んで講演してもらう。</li> </ul> <p><b>【ボランティア活動】</b></p> <p>ボランティア活動(生徒会などで)、雪はね・ゴミ拾い・植樹・清掃・ボランティア部の創設</p>
切磋琢磨できる環境づくり	<p><b>【近隣市町との交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣児童生徒との交流(浦臼・月形・上砂川等)</li> <li>・小さな町と交流し、色々な子と関わることにより、接し方が学べるかも。みなクル等の活用(食事会など)。自己紹介カードや名刺を作成しては。</li> <li>・交流会をするための授業をする。元々ある行事に色々な人々を呼んだりすることによって、他人を知ることができ、交流になるのでは。</li> <li>・チャレンジ意欲を湧かせる動画を作る。学生に共感してもらう。</li> </ul> <p><b>【小中学校連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁新聞作成も奈井江町全体で行う。例、小中高それぞれのグループに分かれ、奈井江町の文化祭に出す。</li> <li>・町内の学校を知るため高校見学(自由参加)を開く。また、小学生が中学校を見学する。</li> </ul> <p><b>【部活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では部活動に加入している人数が少ないので廃部になってしまう。小学校から部活動に参加できるようにしてはどうか。部活やクラブを増やす。施設を作る。</li> <li>・町内は指導者不足、指導者が増えるような支援を行う。(指導者の講習に参加する費用の助成など)</li> </ul> <p><b>【切磋琢磨できる環境づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習い事や特技などを発表したりする場を設けたら、その事に対する関心や意欲が高まるのではないかな。</li> </ul>

### 3. 得意なこと、好きなことを生涯続ける

- 学びや文化、スポーツなど、「生涯の友」を見つけれられる環境を提供します
- 子どもから大人まで様々な学びを支援し、異世代が交流できる場を創ります
- コンチエルトホールを大いに活用し、芸術に触れる機会を増やします

#### 具体的な施策

施策名	事業内容
「生涯の友」を見つける環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業で、選択授業というものがある。自分の伸ばしたい所へ進むのだが、選択の中に「学び・文化・スポーツ」の授業も入れたらよい。</li> <li>・学校の部活動ではなく気軽に好きなスポーツができるクラブがほしい(大会等には出たくない、出られない人もいる)。</li> </ul>
学びを支援・異世代交流	<p><b>【特技や趣味を仕事にすることへの支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特技や趣味など自分が好きなことを仕事若しくは副業にできるような補助があれば良いと感じた。</li> </ul> <p><b>【図書館の活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだことを生かすため、例えば(国語の授業で習ったことを使いつつ自分たちで本を作成し図書館に設置してもらう)。</li> </ul> <p><b>【異世代交流】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会(町民スポーツ大会)～高齢者から幼児までみんなが参加できるもの。異世代の交流ができるのでは。生涯スポーツなどで広い世代で参加ができる競技</li> <li>・子どもと大人で勉強会を開き、子どもの知識と大人の知識を合わせればよい。</li> <li>・老人ホームやこども園に行き高齢者や保育園児とふれあう機会を増やす。</li> </ul>
「コンチエルトホール」の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールを使って「うた」の発表</li> <li>・学校祭で人気のあったクラス発表などをホールで発表する。</li> <li>・ホールを学生に貸したり、発表会を開催してはどうか。</li> <li>・歌やダンスの講座を増やしホールで発表する。</li> <li>・音楽体験として中学校の吹奏楽部の演奏をコンチエルトホールで行い、一般の方や学生に聞いてもらう。また楽器に触れる体験を行う。</li> </ul>
【その他意見】	<p><b>意見箱の設置</b></p> <p>奈井江町の一般の方や学生の要望や意見を募集する意見箱を設置しては。</p> <p><b>行事を授業に盛り込めないか・・・</b></p> <p>小学生時代に参加できていた行事が中学生になると習い事等で忙しく参加することができない。授業時間等に盛り込んでくれば参加できる。</p>